

Press Release

電力の地産地消と脱炭素化を目指す 『鈴鹿グリーンエネルギー株式会社』設立について

2022年9月30日

鈴鹿市

東邦ガス株式会社

アーバンエネルギー株式会社

株式会社三十三銀行

鈴鹿市（市長：末松則子）、東邦ガス株式会社（代表取締役社長：増田信之、本社：愛知県名古屋市、以下「東邦ガス」）、アーバンエネルギー株式会社（代表取締役社長：小林厚、本社：神奈川県横浜市、以下「アーバンエネルギー」）及び株式会社三十三銀行（取締役頭取：渡辺三憲、本社：三重県四日市市、以下「三十三銀行」）は、鈴鹿市における電力の地産地消及び脱炭素化の推進を目的とした地域新電力会社「鈴鹿グリーンエネルギー株式会社」（以下「鈴鹿グリーンエネルギー」）を共同出資により設立いたしました。

鈴鹿グリーンエネルギーは、鈴鹿市の廃棄物処理施設「鈴鹿市清掃センター」等で作られた再生可能エネルギー由来の電力を鈴鹿市の公共施設に供給することで、電力の地産地消及び二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。2023年4月の電力供給事業開始に向けて準備を進め、将来的には公共施設への自家消費型太陽光発電設備設置による創エネ事業等も検討してまいります。

鈴鹿市は、鈴鹿グリーンエネルギーを活用することで、「鈴鹿市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に掲げるエネルギー起源の二酸化炭素排出量の削減目標の達成を目指し、電力の地産地消及び市内の脱炭素化に積極的に取り組んでまいります。

東邦ガスは、中期経営計画で掲げた「SDGs達成への貢献」を通じて、地域共生の取り組み強化を推進しています。これまでにガス・電力販売等の業務を通じて得たノウハウや経営資源を活用することで、鈴鹿グリーンエネルギーの事業運営を支援し、今後も地域に根差したエネルギー企業として、地域とともに発展することを目指してまいります。

アーバンエネルギーは、JFEエンジニアリンググループの電力会社として、再生可能エネルギー由来の電力を皆様の暮らしへ「つなぐ」ことを目指し、全国7社の地域新電力会社の運営支援をはじめ、電力の地産地消に関する様々な事業を展開しております。これまでの地域新電力会社の運営ノウハウを活かし、鈴鹿市におけるエネルギーの地産地消、脱炭素化に貢献してまいります。

三十三銀行は、グループの経営理念「地域のお客様から愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」のもと、企業活動を通じて持続可能な社会の形成に向け、環境・社会への配慮に向けた取組みの積極的な支援を実践しております。本事業は環境問題への重要かつ具体的な取組みと位置づけ参画するものです。

鈴鹿市、東邦ガス、アーバンエナジー及び三十三銀行は、これまでそれぞれが事業分野で培ってきたノウハウや知見を活用し、鈴鹿市の脱炭素化をはじめとした環境課題の解決に資する活動を通じて、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

<新会社の概要>

商号	鈴鹿グリーンエナジー株式会社 (Suzuka Green Energy Co.,Ltd.)
本店所在地	三重県鈴鹿市白子町2925-1
事業内容	小売電気事業、エネルギーサービス事業など
資本金	2,000万円
代表取締役	佐宗 利幸 (東邦ガス 三重地域支配人)
出資者	東邦ガス42.5%、アーバンエナジー42.5%、 鈴鹿市10%、三十三銀行5%
設立年月日	2022年9月28日

<2022年9月30日にイスのサンケイホール鈴鹿 展示室にて開催した設立式の様子>



左より、小林厚 アーバンエナジー代表取締役社長、末松則子 鈴鹿市長、
佐宗利幸 東邦ガス三重地域支配人、中尾淳 三十三銀行理事 営業企画部長

以 上